
平成29年度

第2回川口市青少年問題協議会

大人が変われば

子どもも変わる

平成29年11月21日（火） 午前10時

川口市役所 議会3階 第3委員会室

次 第

1 開 会

2 議 事

ページ

- | | |
|------------------------------|---|
| (1) 青少年問題協議会で扱うテーマについて | 2 |
| (2) 報告書について | 5 |
| (3) その他 | 5 |

3 閉 会

川口市青少年問題協議会概要

設置根拠法令等	地方青少年問題協議会法・川口市青少年問題協議会条例		
設置年月日	昭和30年4月1日		
所掌事務	青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議すること。		
委員数・任期	15人・2年（任期：平成29年6月1日～平成31年5月31日）		
委員の氏名	氏 名 ※敬称略	備 考	
	林 美 恵 子	公募市民	市民
	森行 千賀子	公募市民	
	小野寺 秀明	川口市青少年団体連絡協議会	
	田 中 隆 行	川口機械工業協同組合	青少年関係団体
	平 田 敦 子	川口市民生委員児童委員協議会	
	最 上 祐 次	川口市PTA連合会	
	中牟田 雅子	川口地区保護司会	
	姉 崎 祐 二	川口青年経済人連絡協議会	
	菊地 美代子	川口商工会議所女性会	
	吉 田 明 美	中学校長会	関係行政機関
	七五三野 孝之	川口警察署生活安全課	
	新 木 孝 一	武南警察署生活安全課	
	栗 原 保	大学講師	知識経験者
	若 谷 正 巳	市議会議員	
	芝 崎 正 太	市議会議員	

議題（１） 青少年問題協議会で扱うテーマについて

◆第１回青少年問題協議会における「興味・関心がある分野」の発言要約

- ・子ども会に加入する子どもの減少、指導者の高齢化、若手指導者育成、子どもの格差（貧困）、シングルマザー、活動資金の不足、実施内容の固定化が問題。地域と結びついた若手リーダーの組織化と活性化。
- ・非行の始まりの多くは深夜徘徊とのことであり、未然に非行を防ぐことに興味がある。
- ・子どもを取り巻く環境が変わり、「良い」「悪い」が一つでなくなり、子ども達も迷うことがある。子ども達に対する介入の仕方も難しくなっている。
- ・問題の予防という観点。いじめ等は様々な環境で起こり得るものであり、対策だけでなく予防は大切。問題の根本的な解決には、人との違いを認めるという意識改革が必要。
- ・日本人は困難のなかで生き抜く力、自分らしくアピールする力が弱い。そうしたことが出来得るような人材を育てていくようなシステムプログラムの検討。
- ・放課後の居場所がないことが問題。非行やひきこもりは中高生から急にはじまるのではなく、小学生のころの放課後の時間の使い方が、中高生になって影響を与える。
- ・青少年をとりまく環境は子どもに影響を与える。環境が悪いと、我慢して閉じこもったり、非行に走ったりする。そういう青少年の受け入れや相談施設などの受け皿がほしい。
- ・何かに夢中な子どもは非行に走らないが、打ち込めるものがない子どもが問題を抱えることを予防するような居場所や、打ち込めるものを導いてくれる機会があると良い。
- ・地域の大学生をはじめとした若者が活動できるような場を広げていきたい。青少年のリーダーの経験により、自我の芽生えや人前で何かをすることはプラスの経験になる。
- ・子どもの居場所を作っていくことが重要。困難を抱える子どもが集まってくるので、子ども食堂等の受け皿も良いのでは。義務教育を終わった若者の不登校やひきこもりの子どもの対応も考えたい。
- ・川口は子どもの貧困が近隣市に比べても突出してよくないという現状がある。「困難を抱える子どもや若者を社会全体で支援する体制作りを推進する」ということに特化して取り組んでいく必要があるのでは。

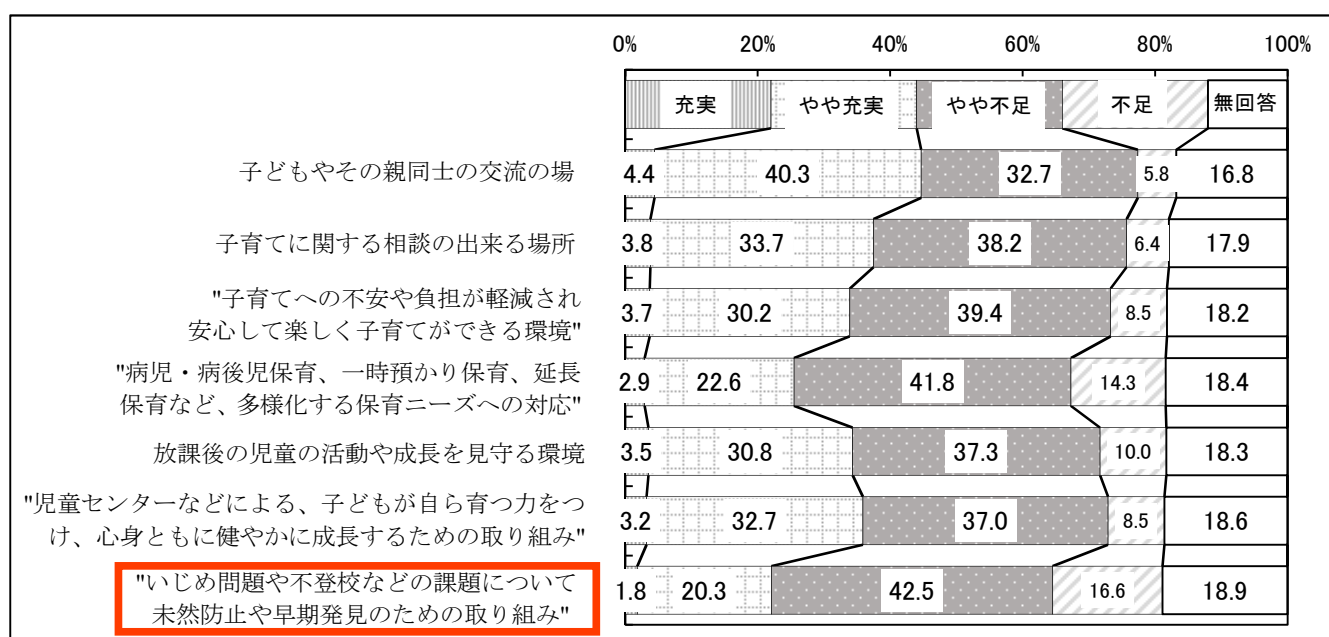
◆平成29年度総合計画のための市民意識調査（抜粋）

実施期間： 平成29年6月1日～22日

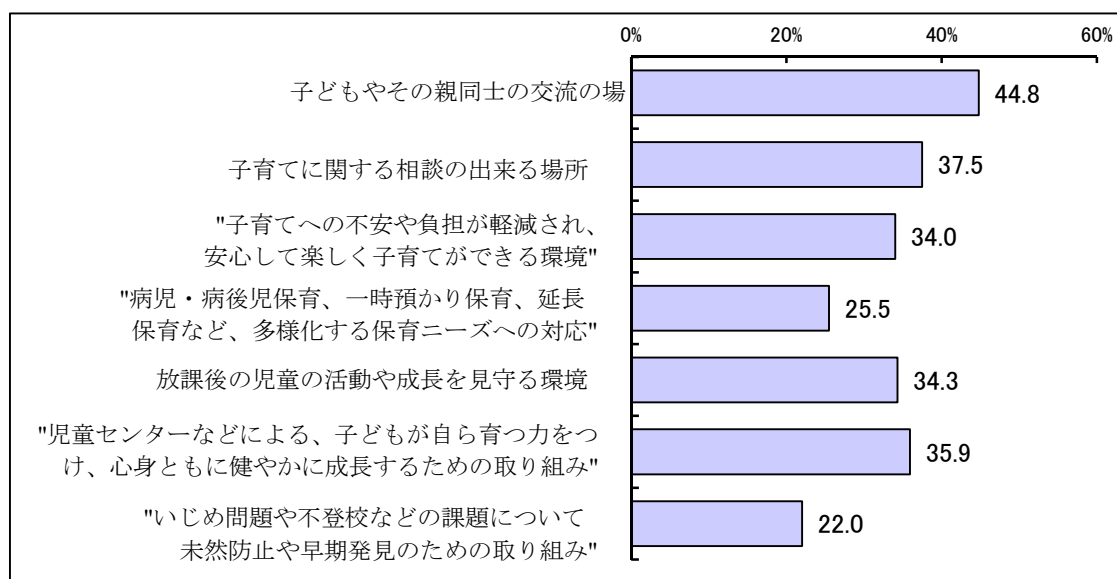
調査方法： 市内在住の18歳以上の5,000人（無作為抽出）を対象にした郵送によるアンケート調査
（有効回答者数1,822、有効回答率36.4%）

「子育て・子育て環境づくりに対する充実度」に関する回答において、「いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み」について、「やや不足」「不足」と答えた割合が59.1%と、他の項目に比べて高い数字となっています。

【子育て・子育て環境づくりに対する充実度】



【充実・やや充実と回答した割合】



◆他市とのいじめや不登校等に関する相談機関の比較

川口市

- 川口市いじめから子どもを守る委員会（担当課：子ども部青少年対策室）
子どもや保護者、市民からのいじめの相談
学校や子ども関連団体等への調査・調整・是正措置の要請等
- 教育相談（担当課：教育委員会学校教育部指導課）
児童生徒の教育全般に関わる内容についての相談受付（電話・来室相談、子ども教育相談、訪問相談、医療相談、学校巡回教育相談、就学相談）
- いじめ相談テレフォン、いじめ相談メール（担当：教育委員会学校教育部指導課）
いじめで悩む児童生徒・保護者の相談受付
- 適応指導教室（担当課：教育委員会学校教育部指導課）
不登校傾向にある児童生徒に対する学校復帰支援、日本語補充指導教室

さいたま市

- 児童いじめ相談（担当課：児童相談所）
職員による子どものいじめ相談受付
- ひきこもり相談センター（担当課：心の健康センター）
ひきこもり、不登校で悩む本人（児童期～青年期）や家族からの相談受付
- 教育相談室（担当課：総合教育相談室）
市内6箇所の相談室において学校生活における不安や悩みの相談

※さいたま市子ども総合センターをH30年度開所予定

越谷市

- 青少年相談室（担当課：青少年課）
非行、問題行動についての相談
- 教育相談（担当課：教育センター）
心の悩み、子どもの発達や就学等についての相談

千葉県船橋市

- 青少年センター（担当課：教育委員会生涯学習部）
青少年の問題行動についての相談
- 総合教育センター（担当課：教育委員会生涯学習部）
不登校などの問題についての相談
- ふなばし地域若者サポートステーション（厚生労働省及び船橋市が委託）
ニート・ひきこもりの若者の就職支援、無料相談

議題（２） 報告書について

◆平成２７・２８年度報告書の活用について

- ・青少年育成協議会合同会議において栗原会長が講演

日 程：平成２９年５月３０日（火）

参加者：市内全３３地区の青少年育成協議会会長及び事務局長

⇒ 南平地区青少年育成協議会総会において平田委員が講演

日 程：平成２９年７月４日（火）

参加者：南平地区の青少年育成委員（２８名）

⇒ 青木地区青少年育成協議会の健全育成研修会において栗原会長が講演予定

日 程：平成３０年２月２１日（水）

参加予定者：青木地区の青少年育成委員等（６０名程度）

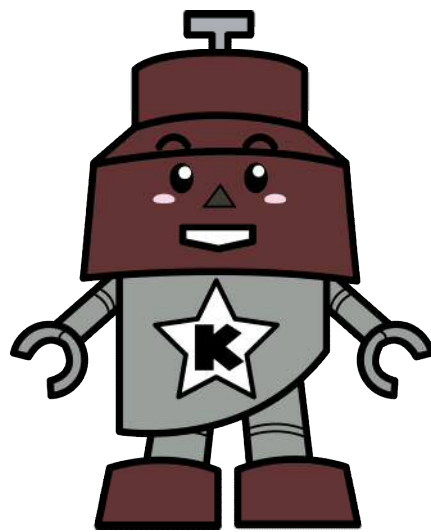
⇒ 横曽根公民館地区において通学合宿事業の実施を検討

◆平成２９・３０年度報告書について

議題（３） その他

[illegible]

『地域の子どもは地域で守り育てる』



川口市マスコット
「きゅぼらん」